

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー):総合科学研究科 地域創生専攻

地域創生専攻では、専攻の学位授与の方針に対応して、総合的・俯瞰的な視野を養うための研究科共通科目や他者との協働ができる素養を身に着けるための専攻共通科目に加え、地域課題に主体的に取り組む専門性や応用力を養うためのコース共通科目及びプログラム科目を編成している。

(情報分析力・語学力・コミュニケーション力等の汎用的能力)

問題解決に向けて主体的に行動する実践力を養うために、専攻共通科目に「地域インターシップ」「国際インターンシップ」などの実践的科目を、多様な人間と協働する能力を養うためにグループワークを基本とする「オープンセミナー」等を配置している。

(研究成果の発表等)

研究の成果を、外国語も含めて口頭、論述等で論理的に的確に発信・説明できる能力を修得できるように、専攻共通科目に「アウトリーチセミナー」「グローバルコミュニケーション」「オープンセミナー」を、研究科共通科目に「技法知科目」配置している。

(社会への貢献)

地域創生を先導し、地域の持続的発展に貢献する意識を涵養させるため、研究科共通科目の「地域創生特論」に加えて、専攻共通科目に「地域インターシップ」、「アウトリーチセミナー」を配置している。

コースのカリキュラム・ポリシー

(専門性に基づいた問題解決能力)

自らの専門性に基づき、地域創生に関する諸課題を発見・解決する能力を養うため、コース共通科目を配置する。

(各コースの方針は以下のとおり)

(1) 地域産業コース

地域産業全般に関する総合的な知識と理解を得ることによって、自らの専門性を多面的に捉え、より適切に地域創生に活かすことができるように、コース共通科目(地域産業総合演習)を配置するとともに、融合型科目(複数教員で実施)を配置している。

(2) 地域・コミュニティデザインコース

地域・コミュニティデザインに関する学際的な知識と理解を得ることによって、多角的な視野から地域創生に活かすことができるように、コース共通科目(地域・コミュニティデザイン総合演習)を配置するとともに、融合型科目(複数教員で実施)を配置している。

(3) 人間健康科学コース

人間健康科学に関する総合的な知識と理解をもつことによって自らの専門性を相対的に深化させ、これを地域創生に活かすことができるように、コース共通科目(人間健康科学総合演習)を配置するとともに、融合型科目(複数教員で実施)を配置している。

プログラムのカリキュラム・ポリシー

(1) 地域産業コース

プログラム毎の専門分野に関する深い専門性を通して地域社会における諸問題に対応できるように、プログラム専門科目を編成している。

1) 高度農林業プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

農業および林業分野に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

(専門分野の応用的な知識)

専門分野について、より幅広く、かつ、深く学ぶための高度専門領域に関する科目を配置している。

2) 水産業革新プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

水産業分野に係る一連の過程を俯瞰できる高度なプログラム専門科目を編成している。

(専門分野の応用的な知識)

各講義科目を踏まえて、学生の主体性に基づいた探求・議論活動を通して、問題解決に向けた実践力を醸成するための演習科目を配置している。

3) 金型・鋳造プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

金型・鋳造分野に係る高度な専門科目(実習科目を含む)を編成している。

基礎的な経営概念について修得できるように、品質工学特論等のMOT科目を編成している。

(専門分野の応用的な知識)

金型・鋳造分野の地域産業が抱える諸問題を解決する実践的な専門科目(特別研究等)を配置している。

4) 地域経済総合プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

経済学・経営学および企業法学に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

地域経済が抱える諸問題を多角的・総合的に捉える能力を修得するための科目を配置している。

(専門分野の応用的な知識)

経済学・経営学及び企業法学に関する実践的なプログラム専門科目を編成している。

(2) 地域・コミュニティデザインコース

プログラム毎の専門分野に関する深い専門性を通して地域社会における諸問題に対応できるように、プログラム専門科目を編成している。

1) 地域マネジメントプログラム

(専門分野の基礎的な知識)

法学および環境分野に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

法学と環境学との架橋を図る科目を配置している。

(専門分野の応用的な知識)

各プログラム科目のうち、受講生が主体となり、自らが問題の所在を把握し、それに対する妥当な解決策を提示することを主眼とした「演習科目」(例： 法特別演習， 政策特別演習など)を配置している。

2) 防災・まちづくりプログラム

(専門分野の基礎的な知識)

防災・まちづくり分野(学際分野)に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

周辺分野の知識を身につけて多面的な捉え方を修得するため、工学系の基礎科目を配置している。

(専門分野の応用的な知識)

防災・まちづくり分野(学際分野)に係る応用的なプログラム専門科目を編成している。

3) 社会基盤・環境工学プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

社会基盤および環境工学分野に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

(専門分野の応用的な知識)

社会基盤および環境工学分野に係る応用的なプログラム専門科目を編成している。

(3) 人間健康科学コース

プログラム毎の専門分野に関する深い専門性を通して地域社会における諸問題に対応できるように、プログラム専門科目を編成している。

1) 行動科学プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

心理学・社会学を中核とする行動科学分野に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

(専門分野の応用的な知識)

隣接領域の知識によって、学際的に人間行動を検討する能力を身につけさせるための科目を配置している。

地域社会における諸問題に対して、行動科学分野の知識を反映させて検討する能力を身につけさせるため、演習をはじめとしたプログラム専門科目を編成している。

2) 臨床心理学プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

臨床心理学に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

(専門分野の応用的な知識)

臨床心理学に係る実践的なプログラム専門科目を編成している。

3) スポーツ健康科学プログラム

(専門分野の基礎的な知識)

スポーツ科学および健康科学に係る高度なプログラム専門科目を編成している。

(専門分野の応用的な知識)

スポーツ科学及び健康科学の実践的なプログラム専門科目を編成している。